

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600735		
法人名	株式会社 ジェイコム		
事業所名	グループホーム多賀の里		
所在地	愛媛県西条市北条231-1		(電話) 0898-65-6662
管理者	目見田 恵子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年12月5日	評価確定日	平成21年1月30日

【情報提供票より】

平成20年11月1日事業所記入

(1) 組織概要			
開設年月日	平成14年7月21日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤	21人, 非常勤 0人, 常勤換算 21.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年11月1日現在)			
利用者人数	27 名	男性 3 名	女性 24 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名
要介護3	12 名	要介護4	2 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.4 歳	最低 73 歳	最高 95 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>庭や畑の手入れは、こまめにされており、利用者がくつろげるようなスペースも設けられた。玄関には、高校生手作りの囲炉裏があり、利用者や来訪者の交流の場になっている。</p> <p>毎日入浴できるようになっている。長めのお風呂を楽しむ方もおられる。むくみや血流の悪い方には、医師の意見も伺いながら、足湯や足のオイルマッサージをされている。</p> <p>畑で野菜作りやお花の手入れ・草引き等をされたり、縫い物の得意な方は、ひ孫さんの洋服を縫ったりされている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、トイレにカーテンを取り付けられたり、利用者の身体機能の維持向上に力を入れて取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、各ユニット会時に職員で取り組み、ユニットリーダーがまとめられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議では、利用者の日常の様子を写真等で、わかりやすく説明された。出席者が、地域の方達に声をかけてくださり、事業所と地域の人とのつながりの輪が、さらに広がってきている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族来訪時や事業所の夏祭りの際には、ご家族同士も交流されている。家族会時には「重度化した場合でも見てくれるのか」「付き添いはしなくてもいいのか」等の質問も出され、事業所は丁寧に答えられた。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・事業所では、利用者が地域の中に出かけ、地元の人達と交流できるような機会を積極的に作っておられる。小・中学生や高校生との交流を重ね、高校生や地域の方と一緒に餅つき等もされている。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ケアセンター多賀の里

(ユニット名) 壱丁目

記入者(管理者)
氏名 目見田恵子

評価完了日 平成20年10月31日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業所独自の理念を掲げ地域の行事に参加している。		サービスをすべての利用者に出来ているとは言えない 同じ人が地域に出かけている為、出来るだけ多くの人に地域に参加していただくようにしたい。
			(外部評価)		
			「利用者が穏やかに生き生きと社会生活が営めるよう」事業所の理念を掲げておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を職員の名札の裏に記載したり、ユニット内の利用者の憩いの場である食堂兼居間に掲示し理念を共有し日々の実践に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			理念は名札の裏に示し、日々の業務やユニット会等でも話し合い、日々実践に取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念は、見える所に掲げている家族の人は理解していただいていると思うが、地域の人すべての人に理解していただいているとは思わない。		機会があれば、自分たちの理念を一人でも多くの人に理解していただけるよう説明していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 行事、事などには案内状を出して来ていただいたり、餅やおせちなど出来た物を配ったり、又近所の人からいただいたりして、つき合いに務めている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会、敬老会、地域の防火訓練などに参加して日頃より交流に務めている。又小、中、高などとも色々な行事などで交流を深めている。 (外部評価) 事業所では、利用者が地域の中に出かけ、地元の人達と交流できるような機会を積極的に作っておられる。小・中学生や高校生との交流を重ね、高校生や地域の方と一緒に餅つき等もされている。		敬老会など体調により、利用者が参加出来ない時もあるが、色々状況を把握し地域との交流を今以上して行きたい。 事業所は、「地域との共生」に力を入れて取り組んでおられ、さらに今後も地域に出かけることをすすめ、地域の方達に向けて、介護の知識や技術の講習にも、取り組んでいきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の話し合いなどは、センター長やケアマネジャーは取り組んでいるが、職員は機会が少なく出来ていない。		機会があれば職員も出席し情報を共有したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義を理解し、改善すべき所は、気づいた時点ですぐ改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、各ユニット会時に職員で取り組み、ユニットリーダーがまとめられた。前回の評価結果を受けて、トイレにカーテンを取り付けられたり、利用者の身体機能の維持向上にも力を入れて取り組まれた。		新人職員は全員が十分理解しているとは言えない所がある為、説明していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進委員の人達は、地域の方、家族、行政の方など多方面の方が出席していただいている時なので評価された事など説明し改善した所など会を機会に報告し、意見など聞き採り入れている。		
			(外部評価)		
			会議では、利用者の日常の様子を写真等で、わかりやすく説明された。出席者が、地域の方達に声をかけてくださり、事業所と地域の人とのつながりの輪がさらに広がってきている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			行政には、事ある事に行ったり色々なことで普段からかわりを絶やさないよう話し合う機会を持ってサービスに取り組んでいる。		一部の職員しか行き来してないの為色々なことに対し全員にきめ細かく報告して行きたい。
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられる。市主催のサービス向上連絡会議に参加し、意見交換をされている。市の担当者に、成年後見制度等についての相談等もされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			管理者は色々な研修などに参加して、職員に報告や勉強会などしている。		機会があれば職員にも学ぶ機会を増やしたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			日頃より虐待については注意を払っている。又色々な情報を集めその都度職員に報告し、一人ひとり自覚を持つようにしている。		安全対策委員会をもうけ虐待防止に務めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が十分説明をしている。不安や疑問点があればいつでも説明し理解、納得できるよう努めている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見を言えるような関係作りはしているが外部者へ表せているかは分からない。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の状況は、一ヶ月ごとに手紙や面接時に報告し、異変があったときは、その都度電話などで連絡している。		
			(外部評価) 利用者の日々の暮らしぶり等、ご家族の来訪時に報告され、又、毎月ご家族に送付する「日常生活報告書」に写真を添えて報告されている。		今後、年4回事業所便りを発行する予定となっていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年に一度の家族会や面接時に何か意見はないか聞いている。		
			(外部評価) ご家族来訪時や事業所の夏祭りの際には、ご家族同士も交流されている。家族会時には「重度化した場合でも見てくれるのか」「付き添いはしなくてもいいのか」等の質問も出され、事業所は丁寧に答えられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全体会や毎日の申し送りなどで意見や提案を言える関係ができており、反映されている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ローテーションを組み対応ができるよう努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 日頃より全体の利用者とのかかわりを持ち出来るだけダメージを少なくするよう努めている。が新人職員等が入職した際異動もやむ得ないときもある。		新人職員が入職した際、声掛けなどしかかわりを多くして不安など最小減にして行きたい。
			(外部評価) 新しい職員が入るような時には、「ユニットごとの均一化を図る」ため、職員がユニット間で異動する事もある。日頃から、全ユニットの職員間で情報を共有し、利用者へのダメージを抑えられるよう努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員が希望する研修を受講できるようになっている。		
			(外部評価) 法人内研修に参加されている。外部研修は、職員が希望する研修を受けられるようになっているが、時間のこともあり、外部の研修を受講することがむづかしいような職員もある。管理者は、職員個々の段階に応じ、指名して受講をすすめることもある。		管理者は、今後、外部研修で得た情報を内部研修の際に、皆で共有できるよう、仕組みを作っていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
				全体会での勉強会や研修など行っている。	
			(外部評価)		
			法人内の事業所や市内の他グループホームと行事時等に交流されている。他グループホームからの実習も受け入れておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
				忘年会や慰労会など行い又休憩時間にはゆっくりとくつろげる時間を作ってストレス解消に努めている。	
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
				言葉での評価あるが処遇が変わらないために充分されてない。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
				管理者は行っているが職員が入所前に利用者に関わることは少ない。入所してから本人が何を求めているのかを聞いている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者は行っている。職員が入所前に家族へ関わることは少ない。入所してからは家族や利用者から何を求めているかきいている。		初期から出来れば職員もかかわりたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 管理者が行っている。すぐその状況を職員にも伝え対応に務めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所前に一日過ごしてみたり、自分の家具など入れたり、個々に合わせ工夫している。 (外部評価) 入居間もない頃は、ご家族に頻繁に来訪いただけるよう声をかけておられる。職員は、ご本人に寄り添い、声かけも多く持つようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人が何を求めているか考え、一緒に散歩したり家事をしたり、一緒にすごし支えあいながら生活している。 (外部評価) 利用者同士と一緒に洗濯し、干したり取り入れたりする方もおられる。裁縫の得意な方は、職員のボタン付けをしてくださることもある。調査訪問時、昼食を食べずに台所で片づけをされている職員の方に利用者が「一緒に食事しましょうや。はよう(早く)おいで」と声をかけておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人が何を求めているかを共に考え、情報交換や機会作りを行い、一緒に本人を支えていく関係作りを行っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日々心がけている。		家族や利用者に思いをよく聞き今以上よい関係を築いていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 認知症が進行するにつれ、関係が薄れていっている。		馴染みの人や場所を聞き、会ったり行ったりする機会を今以上に作りたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立しないように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 継続的な関わりを必要とする利用者や家族とのつきあいを大切にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人が訴え出来ない人は思いなどをよく考慮し把握に努めている。		
			(外部評価)		
			日々の関わりの中から、ご本人の希望や意向の把握に努めておられる。事業所では、生活記録の充実を図り、夜間は、1時間毎に利用者の様子を記録されている。急変した時の流れや、病院・ご家族への説明もしやすくなったと話しておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			日常生活の中で聞いたり、家族の面接時に聞いたりして、把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			ユニット会などで意見を交換しあい、一人ひとりの利用者の現状を総合的に把握するよう努めている。		心身状態などいつもと違うと感じた時は看護師や主治医に相談している。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人が何を望んでいるかを把握した上で話し合い、家族とも相談しながら介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画を立てる時には、これまでの計画を見てもらいながら、ご家族と今後の支援内容について相談されている。又、ユニット会等でも話し合いされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			変化があった時はすぐ家族に相談し計画の立て直しをしている。		
			(外部評価)		
			計画は、3ヶ月に1度、見直しされている。状態変化時等は、その都度見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			詳しく記録に残す事ができていないこともあるが出来るだけ個別の記録に記入し見直しにいかしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			希望、要望があればその都度対応している。(ターミナルの受け入れなど)		
			(外部評価)		
			事業所では、共用でデイサービス・ショートステイの受け入れをされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 多方面の人達とふだんからつながりを、大切にして協力していただき支援している。		地域推進委員会などに警察の方の出席のお願いしているが巡回を多くする事で、出席は今の所無理と言われているが、これからも呼びかけて生きたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人や家族の希望があれば支援している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の希望があれば応じている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望する、かかりつけの病院との関係を大切にしている。受診には職員がつきそっている。 (外部評価) 利用者個々にかかりつけ医があり、往診もしてくれるようになっている。受診時は、ご家族や職員が同行されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 週一回の往診があり、必要があれば相談したり受診などしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が常時いる為体調の把握はできており、色々相談しながら支援している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関と連携しきちんとしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族等関係者を交え話し合いの機会を持ち、本人や家族の希望を文書で、スタッフがすぐ目を通すことの出来る所へ保管している。		全入居者の家族と最近の状況などについて話し合いをすすめて今後の事も決めて行っている。
			(外部評価) 事業所では「重度化対応・終末期ケア対応指針」を定め、ご家族に、急変時の対応についての希望も聞いておられる。状態変化時には医師・ご家族と話し合い、支援のあり方や体制について話し合いがなされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 文書を作成し、全入居者の家族との話し合いの場を持って主治医などと共に行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 自宅へ帰る場合は、十分な情報交換ができています。他施設へ移る時は、関係者間で情報交換は充分できているとはいえない。		他の施設に移る時、充分事前に情報を交換して行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとり人生の先輩として尊敬した言葉がけをしている。(呼び名は、生活してきた時の呼び名で対応する時もある。)		
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員は、利用者に対してやさしく接しておられた。		職員は、「不適切な言葉かけをしたり、声かけが不十分であったりする時があるのではないかと」日々を振り返っておられた。ケアの現場で感じておられることをもとに、「一人ひとりの尊重」という観点から、全職員で話し合う機会とされてはどうだろうか。貴事業所のさらなるケアの質向上に向け、取組みを重ねていかれてほしい。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			自己決定出来る利用者は、思いなど叶えられるよう支援している。		自ら思いなど訴えられない人は、思いなどを充分支援できているかどうかわからない。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			出来るだけ一人ひとりのペースにそえるようにしているが、時として出来ない時もある。		自分で動くことや思いなどを訴えることが出来る人が少ない為、行事などある時などこちらのペースにあわせていただく事もある。
			(外部評価)		
			お友達のお宅を訪ねたり、お花の植え替えをされたり、ご本人のその日の希望をうかがいながら支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者の持っているものの中で職員がそれぞれ工夫し行っている。理容は、美容室の方に訪問してもらう。又美容室に行くこともある。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) レベル的に無理なところがある為、台ふき等出来る事をしてもらっている。 (外部評価) ユニット毎に職員が献立を立てておられる。利用者の力量に合わせて、準備や片付け等、職員と一緒にされている。外食時にはメニューを見ながら、好きなものを選んでもらえるよう支援されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が望む時に(例コーヒー、牛乳他)だすようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日中はほとんど紙オムツは使用せず排泄パターンを把握し時間的にトイレ誘導しているが夜間は職員が一人の為オムツを使用していただき把握し交換さしていたでいる人もいる。		出来るだけ夜のオムツの方も無くしたいが夜間は職員一人の為、体重やレベル的に無理なところもある為これからも検討して行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴時ゆっくりと入っていただけるよう心がけているが、時間などこちらの都合に合わせていただいている人もいる。		立位が出来なく、体重の重い人で二人の職員で入れなくては無理な方は、こちらの都合に合わせてもらっている方もいる。
			(外部評価)		
			毎日入浴できるようになっている。長めのお風呂を楽しむ方もおられる。むくみや血流の悪い方には、医師の意見も伺いながら、足湯や足のオイルマッサージをされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの状況に応じた安眠や休息をとってもらうようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			地域の行事に参加したり、四季折々の行事や外出など色々なことにより役割や楽しみなどの支援している。		
			(外部評価)		
			畑で野菜作りやお花の手入れ・草引き等をされたり、縫い物の得意な方は、ひ孫さんの洋服を縫ったりされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金は、ほとんどの方がもっていない。家族の希望でもあるし本人もお金の理解が出来ない方が多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			自分の思いを訴えられるかたは、希望に添えるようにしているが、訴えの出来ない方でもドライブや散歩、買い物など戸外にでていくように心がけている。		
			(外部評価)		
			日々の散歩や買い物・ドライブの他、地域行事には積極的に参加されている。外出を希望される時には、その都度支援できるよう努めておられる。時に、職員の都合がどうしてもつかないような時には、ご家族の協力をお願いすることもある。		職員は、個々の行きたいところへの支援や、一泊旅行にも出かけたいと話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの希望にはなかなか添えていないところがあるドライブ時などには家族に声掛けるときもあるが、なかなか参加は得られていない。		自分の思いを訴えられない方が多いが、少しでも思いを感じとり叶えていけるようにしたい。家族のかたも参加できる日など聞き参加していただけるよう考慮したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話や手紙を書く事の出来る方はしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族はもちろん知人など自由に行き来はできるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束は、委員会を作り日々拘束はおきていないか拘束0運動に取り組んでいる。又どうしても生命の危険回避の為やむをえない時は、(ベットの柵など)家族と相談し夜間のみ片側だけでもさしていただく話し合いを持っている。		拘束かどうか疑問ができれば、管理者などと相談し検討している。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 開設以来鍵は夜間以外かけていない。誰でもいつでも自由に出入りできるようにしている。 (外部評価) 職員の見守りと声かけで、日中玄関に鍵をかけない暮らしを実践されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在確認や様子など職員同士の声掛けなどにより把握すると共に安全にも注意を払っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 基本的に危ない物は、家族が持ってきていない。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 全体会やユニット会などで話し合いをすると共に個々に研修に行き学んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行っていない特に新人職員は、先輩や看護師任せになっている。		定期的に行いたい。又新人職員には入職したら早めに研修するようにしたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練や地域推進委員会などで度々協力をお願いをし理解をえている。 (外部評価) 車椅子を使用される方の避難方法を検討した結果、1階ユニットに移動いただいた例もある。出入口の階段をスロープにされた。地域の防災訓練には、職員が参加されている。避難後の見守りを近所の方が協力してくれるようになっている。		現在、施設の裏の河川が台風時など危険な為、工事をしてもらう申請をして頂いていたが、許可が下りたとの報告を受ける。 事業所では「防災計画」を立てておられ、災害時、避難した利用者の見守りを地域の方にも、お願いしたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族会や面会時又電話などで事ある事に家族と話し合いをしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 何かおかしい、いつもと違うと感じた時は、職員同士で声掛けすると同時に看護師に報告し対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服用している薬は、処方箋により理解できるようにしている。又急に変更時などは、口答はもちろん申し送りノートに記入し全員が把握できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェック表で個々の排便状態をチェックし、個々にあわせセンナ茶など飲用してもらい出来るだけ便秘薬は控える工夫をしている。又普段から繊維の多い食べ物をとってもらっている。それでも出ない時は、看護師の指示により便秘薬服用してもらっている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後は、必ず個々に合った物で口腔ケアをしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士などによりバランスは考慮できている。水分や食事はチェック表を記入し一人ひとり把握できている。 (外部評価) 事業所では、一日1リットルを目標に水分補給できるよう支援されており、お茶を飲まれない方には、好みのジュース等もすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症に対するマニュアルを作成し全員に理解したうえで、日々手洗いや消毒を心がけている。又テーブルや椅子、床などは毎日塩素系の物でふいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>実行できている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関にベンチを置いて休むことが出来るようにしたり、門を広く取り危険なく出入りできるようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>トイレの前などにカーテンをつけ配慮したり、季節の花を飾り利用者に四季を感じていただいたりしている。室内が暗い時には日中でも電気などつけ配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>庭や畑の手入れは、こまめにされており、利用者がくつろげるようなスペースも設けておられた。玄関には、高校生手作りの囲炉裏があり、利用者や来訪者の交流の場になっている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファや和室など思い思いに過ごせる居場所を確保している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人が作った物を飾ったり写真を貼ったり、昔から馴れそめた家具など置き居心地良く過ごせるようにしているが、中にはそうでない方もいる。		以前から家族の方に思い出の物など持ってきて欲しいことを伝えているが、これだけでいいと言われる方に対しては、強制はしていない。
			(外部評価)		
			趣味の鉢植えを居室で育てたり、鏡台やテレビ・ご家族の写真等も飾られている。毎朝、職員と仏壇にご飯をお供えしている方もいる。床にマットを敷いたシンブルな居室もみられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			随時換気に努め、室内の臭いなどに配慮しているが外から帰った時気になるときもある。		今以上換気には気をつけて行きたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりや車椅子専用のトイレや洗面台など取り付けている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			些細なことでも出来る事をしていただくよう心がけている。(一部の方ではある)		意思疎通の難しい方に何かしていただきたく色々考慮しているが難しい。これからも少しでも出来るよう色々工夫していきたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			花畑や畑などに色々な物を植え楽しんでいる。実がなれば収穫し皆でいただき喜びを感じている。又縁台やベンチなどで食事やお茶などもしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	何を望んでいるか理解できにくい方がいる為、ほんとうに今している事は本人にとってほんとうの思いかどうか分からない方がいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ③ たまにある 4 ほとんどない	利用者のほとんどが自立では、何も出来ない方の為トイレ、食事、その他に時間がかかりゆったりと過ごす時間が少ない。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何か特別な行事がない限り、一人ひとりのペースで暮らしてもらっていると思うが、利用者にとってほんとうに暮らせているかどうか分からない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	支援している中でいつもと違う表情される事が多いように感じられている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ④ ほとんどいない 3 利用者の1/3くらいが 2 利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が	自立歩行出来る方がほとんどいない為、自分の意思というより職員と一緒に色々な所へ出かけている。(散歩、買い物、ドライブ他)
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療面は病院と連携を密にとっている。又看護師にはいつでも利用者を見てもらえる体制になっている。が車椅子の方でも日々自由に過ごして貰っている為、完全な見守りが出来ているとは言えないので転倒などの危険もある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者の立場に立って思いなどくみとり支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族から、色々相談を受けた時など必ず職員や管理者場合によっては主治医などと共に納得の行く対応をしている。また些細なことでも日々家族の方に報告を怠らないよう日々関係を密にしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない 2 数日に1回程度 1 ほぼ毎日のように	時々教え子の方や、知人が来られている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	色々と地域の方の協力を得ている、地域の方から色々な行事ごとなど積極的に言ってくださり参加させていただいている。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の労働に疲れ生き生きと働いているとは言えない日もある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意志の確認の難しい方もいるが、出てくる言葉や表情からおおむね満足していると思う。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や電話ではこちらが色々聞いてる中では満足しているという言葉はよく聞か、ほんとうにそうなのか本心はわからない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

私たちのユニットは車椅子の方や、重度の病気を抱えているユニットではあるが皆と特別に変わるという事なく、地域の行事に参加したり好きな踊りも車椅子に乗ったまま踊ったりと地域の住民と同じ生活を目指しています。ただ住家が多賀の里と言う事で何も変わりなく過ごせるよう支援しています。